

LIXIL

顔認証システム

取扱い説明書



		ページ
	■重要なお知らせ	1
	■ 警告用語の種類と意味	1
	■特に注意していただきたいこと	2
		3
お		4
して	1. 認証方法について	4
	2. 顔認証について	5
はる	3. 顔認証の登録および認証時のご注意	6
前	4. パスワード認証について	6
(ب	■施解錠に関する機能説明	7
	1. 自動施錠機能	7
	2. 連動施錠機能	8
	3. 閉め忘れ防止機能	8
	4. 不正解錠防止機能	8
	■初回起動時の設定方法	9
	初回管理者ユーザー登録	9
	各ユニットの電源を ON にする	9
	管理者ユーザー登録を行う	10
	■施解錠方法	11
俥	1. シングル認証(顔認証)の操作方法	11
角	2. シングル認証(パスワード認証)の操作方法	11
万法	3. ダブル認証の操作方法	12
	4. 非接触屋内ボタンの操作方法	12
	■各種設定方法	13
	1. 認証キーの登録・削除や認証に関する設定方法	13
	2. 施解錠に関する設定方法	19
	3. 非接触屋内ボタンに関する設定方法	20
	4. 転居・退去時に行うこと	20
お困	■こまったときには	21
りの	1. 故障かな?と思ったら	21
とき	2. 顔認証ユニットのエラー表示	23
は	3. 制御ユニットデジタル表示部のエラー表示	24
	■お手入れ方法	25
その	■商品仕様	26
他	■アフターメンテナンスについて	27
	■ 一 一 ついて 一 のいて 一 のいて 一 のいて の の の の の の の の の の の の	28

目次

重要なお知らせ

- ご使用の前に
 ●安全のため、必ずお守りください。
 「顔認証システム」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。もしこの取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、株式会社 LIXIL およびその販売会社に責任はないものといたします。
- この取扱い説明書に記載してある注意事項が、すべての危険を含んでいるわけではありません。したがって、「顔認証システム」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2. この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
- 3. この取扱い説明書についての質問またはより詳しい情報が必要な場合は、下記の窓口 までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では「顔認証システム」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。 この「取扱い説明書」では、危険度(または事故の大きさ)にしたがって、次の3段階 に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)にしたがって ください。

警告用語	意味
▲警告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または、重傷を負う危険 が想定されます。
(▲注意)	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危 険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、 機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)



- AC アダプターの使用時は次の内容をお守りください。感電・火災のおそれがあります。
- ・傷んだ電源プラグやコンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。
- ・電源プラグに付着したホコリは定期的に拭き取ってください。その際は電源プラ グを抜き、乾いた布で拭き取ってください。
- ・電源プラグは根元まで十分差込んでください。
- ・雷が発生した際は、プラグに触らないでください。
- ●感電によるけがや機器が故障するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・精密機器のため分解や修理、改造をしたり、強い衝撃を与えないでください。分 解・改造したものは補償対象外となります。
- ・散水による水洗いは避けてください。
- ●機器に異常が発生したら、AC アダプターをコンセントから抜いてください。発熱、 発火の原因になるおそれがあります。

▲注 意

- ●サムターンの作動途中で停電となった場合は、手動でサムターンを回し完全に施錠、 または解錠してください。意図しない状態になっている場合があり、第三者に侵入 されるおそれがあります。
- ●ドアを開けた状態で、手動による施錠/解錠をしないでください。施錠状態でドアを閉めるとドア枠をキズつける原因になります。

■お願い

- ●在宅時は施錠してください。施錠されていない時は、ドアが固定されないため、 寄り掛かりや強風時に予期せずドアが開く場合があります。 ※自動施錠 ON を推奨します。
- ●作動中にサムターンにふれたり、ドアを開けたりしないでください。 錠が枠に当たりキズが付くことや一時的にサムターンが少し重くなる ことがあります。
- ●停電時や故障など、万が一の事態に備えて、カギ(●●)も携帯するようにして ください。
- ●ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店様・販売店様または当社 お客さま相談センターにお問い合わせください。
- ●製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

各部の名称と主な機能説明

※玄関ドアには、吊元の違いにより「右吊元」「左吊元」がありますが、 特別に記載が無い限り、操作に違いはありません。





■補助ライト部に関する注意事項

 ・補助ライト部は長時間日光にさらしていると変色する可能性があります。変色しても機能や性能に対する影響はなく、 故障ではありませんのでそのままお使いください。



認証に関する機能説明



認証方法について

本製品は、ユーザーごとに以下の3種の認証方法から1つを選択できます。 ①シングル認証(顔) : 顔認証が成功すると施解錠を行います ②シングル認証(パスワード):パスワード認証が成功すると施解錠を行います ③ダブル認証 : 顔認証成功後、パスワード認証も成功すると施解錠を行います

①シングル認証(顔)

顔だけで施解錠

②シングル認証(パスワード)

パスワードだけで施解錠

< <u> </u>	ドを入力して0	K をタッチ
	2	
4	5	6
7	8	9
#	0	
	ок	

③ダブル認証





※ダブル認証時のパスワードはユーザー毎に設定が必要です。

顔認証について

2 顔認証はカメラで撮影した顔情報と登録済みの顔情報を照合し、施錠・解錠を行います。 認証範囲や距離に関しては下記の図をご確認ください。





●第三者によるパスワードの特定を防ぐため、定期的なパスワードの変更を推奨します。

施解錠に関する機能説明



自動施錠機能

自動施錠機能とは、扉が閉まった際に自動で施錠を行う機能です。

■お願い

自動施錠機能を ON にした場合は、停電時や故障時に閉め出しが発生することがあるため、外出時は必ずカギをお持ちください。

自動施錠機能には以下の 3 つの設定があります。(出荷時の設定は OFF。また閉め出しを防ぐために設定を ON1、ON2 にしても顔認証またはパスワード認証を 1 度行うまで有効になりません。) ※設定方法は P.19 を参照ください

設定	動作
ON 1	電動での解錠時のみ扉が閉まると自動で施錠します。 手動での解錠時は扉が閉まっても自動で施錠されません。
ON2	手動・電動の解錠方法を問わず、扉が閉まると自動で施錠します。
OFF	手動・電動の解錠方法を問わず、扉が閉まっても自動で施錠はしません。

※電動での解錠: 顔認証・パスワード認証の他、非接触屋内ボタンやドアホンを使用する等、電動で解錠する全ての方法を含みます。 手動での解錠:シリンダーにカギを差して回す、もしくはサムターンを手で回して解錠する方法があります。



連動施錠機能

連動施錠機能とは、手動で上のサムターン(またはシリンダー)を施錠すると連動して下のサムターン(またはシリン ダー)が自動で施錠される機能です。(出荷時の設定は OFF) ※設定方法は P.19 を参照してください。



※下のサムターンを施錠しても連動施錠の機能は働きません。 ※解錠操作時は、連動しません。

閉め忘れ防止機能

閉め忘れ防止機能とは、解錠後、ドアの開閉をせずに 30 秒経過した際、自動で施錠がされます。 本機能は P.7 に記載の自動施錠設定に応じて自動で施錠される条件が異なります。

- ・自動施錠設定が OFF・ON1 の場合:電動での解錠時のみ、開閉をせずに 30 秒経過すると自動で施錠します
- ・自動施錠設定が ON2 の場合 :手動・電動どちらの解錠時でも、開閉をせずに 30 秒経過すると自動で施錠します



 4
 TEREBUBLIE

 TEREBUBLIE
 Etetaubrothead

 Variable
 Variable

 V

1つめのカギが不正に開けられても20秒以内に 2つめのカギを開けなければ自動的にカギが再 ロックされ不正解錠を防止します。

※この機能は正しい操作のときも働きます。2つ めのカギは 20 秒以内に解錠してください。

※自動施錠設定の ON・OFF に関わらず、本機能 は作動します。 サムターンのツマミを取外せますので、外出時に外しておけば、 ガラス破りなどによる不正な操作を防げます。 ※外したツマミは保管場所を決め、ご使用する方全員が分かる ようにしてください。

初回起動時の設定方法



初回管理者ユーザー登録

初めて顔認証ユニットを使用する場合、最初にユニットの電源 ON と顔認証ユニットへの管理者ユーザー登録が必要です。 下記の手順で操作を行い、ユニットの電源 ON と管理者ユーザー登録を行ってください。 (入居者の操作前に第三者からのディスプレイ操作を防ぐため、制御ユニット以外の電源を OFF の状態にしています。)

■操作フロー





Ⅱ. 管理者ユーザー登録を行う

管理者ユーザーはメニュー画面に入る権限を持つため、ユーザーの登録・削除や設定変更等が可能になります。顔認証ユニッ ト内の全ての操作が可能になるため、管理者ユーザーはよくご検討の上で選定をお願いします。

■お願い

管理者用パスワードは重要な情報のため、必ずお忘れにならないようにご注意ください。万が一忘れてし まった場合、後で確認することができないため、十分に注意して管理してください。

【パスワードメモ欄】

8~16文字、英語・数字・記号から2種以上を含めて設定してください。

【万が一、管理者パスワードを忘れてしまった場合】

管理者ユーザーの顔認証ができる場合

- ・メニュー画面へ入ることができ、ユーザー追加や設定変更が可能です。
- 工場出荷状態にする(P.17参照)ことで管理者パスワードを再設定することができます。
- ●管理者ユーザーの顔認証ができない場合。
- ・メニュー画面へ入ることができません。
 - ・ユーザー追加や設定変更が必要な場合はユニット交換が必要のため、LIXIL 修理センターもしくは、 ご購入の販売店にご相談ください。

①管理者パスワードの設定

電源 ON 後に下記画面が表示されたら、2 カ所にパスワー ドを入力し、「設定する」を押します。



③管理者の顔登録

丸い枠内に顔が映るようにしてカメラボタンを押します。 登録成功時は画面下部に「OK」と登録画像が表示されます。





※顔登録時は P.6 に記載している注意事項をご確認のうえで実施をお願いします。 ※登録失敗時は、丸い枠に顔が大きく映るように近づき、再度カメラボタンを押してください。 ※追加で管理者ユーザーや顔画像を登録したい場合は、P.15 を参照してください。

②管理者名の設定

管理者の名前を入力し、「顔登録へ」ボタンを押します。

管理者設定	
1	
名前を入力してください	
該登録へ	



④設定の完了

設定が完了すると下記の画面が表示されるため、 「OK」ボタンを押すと利用が開始できます。

設定が全て完了しました
\bigotimes
В2 ОК

施解錠方法





顔認証ユニットに近づき、画面下部のアイコンをタップするとパスワード入力画面が表示されます。登録済みのパスワードを入力し、「OK」ボタンを押すと上下2つの錠が解錠、もしくは施錠します。 シングル認証(パスワード認証)を使用する場合は、パスワードを設定し認証モードを「シングル(パスワード)」に 変更してください。(設定方法は P.15 を参照)



■シングル認証(パスワード認証)時の注意事項

・パスワードを連続して3回間違えるといたずら防止で30分間ロックされます。 ・上記のロックがかかるのはパスワード認証のみで顔認証をすることはできます。



ダブル認証の操作方法

カメラに顔と視線を向けると顔認証が行われ、認証に成功するとパスワード入力画面が表示されます。登録済みのパス ワードを入力し「OK」ボタンを押すと、上下2つの錠が解錠、もしくは施錠します。 ダブル認証を使用する場合は、パスワードを設定し認証モードを「ダブル」に変更してください。(設定方法は P.15 を参照)





パスワード認証の成功 両認証が成功すると施錠 / 解錠します



非接触屋内ボタンの操作方法

「非接触屋内ボタンに手をかざすことにより、ボタンに直接触れることなく施解錠操作することが可能です。





■非接触屋内ボタン使用時の注意事項

 ・電動による施解錠操作完了後、3 秒間操作無効時間があります。操作無効時間は非接触屋内ボタンを含む全ての 電動操作が無効になります。非接触屋内ボタンの動作表示灯が点灯しても施解錠出来ませんが故障ではありません。
 ・反応範囲に人体を含む物体が入り込むと、意図せず非接触屋内ボタンが反応し、施解錠される場合があります。 下記のパターンを参考に、非接触屋内ボタンの反応範囲内に物体が入り込まないようにしてください。
 ※反応範囲は調整可能です。調整方法は P.20 を参照してください。



各種設定方法

□休□ □ ユーザー 18 5 その他 5 説明動画 登録 □55 設定 □

認証キーの登録・削除や認証に関する設定方法

認証に関する設定は顔認証ユニットのメニュー画面から実施することができます。 ※メニュー画面へは管理者認証を行うため、管理者ユーザーしか入ることができません。

■メニュー画面への入り方

①画面上部を3秒以上長押しすると 指マークが表示されます



②指マークが表示された状態で左右
 どちらかにスワイプします



③管理者ユーザーによる顔認証または右下のアイコン(*(¹/^{**})を押して管理者パスワードでの認証を行うと メニュー画面へ入ります。



■メニュー画面移行時の注意事項

- ・閉め忘れ防止機能による施錠とユーザー登録削除が合わさると閉め出しが発生する可能 性があるため、扉を開けた状態でメニュー操作を行ってください。
- ・管理者パスワードの入力を連続して5回間違えると、いたずら防止のため30分間メニュー 画面へ移行できないようにロックがかかります。
- ・ロックがかかっている際は、メニュー画面へ移行するための顔認証・管理者パスワード 認証どちらもできません。
 (通常の施解錠を行うための顔認証・パスワード認証は実施可能)







メニュー	説明	参照先
①ユーザー	ユーザー登録・削除やシングル・ダブル認証等の認証方法の設定ができます	P.15
②顔認証	認証距離やセキュリティレベルに関する設定ができます	P.16
③認証間隔	認証成功後のインターバルに関する設定ができます	P.16
④設定	音声設定や時刻、管理者パスワードに関する設定ができます	P.17
⑤メンテナンス	顔認証ユニットの初期化や再起動ができます	P.17
⑥データ削除	ユーザー情報の削除ができます	P.18
⑦画面表示	認証時にディスプレイにカメラ映像を映すかどうかが選択できます	P.18
⑧戻る	メニュー画面から認証を行う画面に戻ることができます。 ※「戻る」ボタンを押さなくても一定時間が経過すると認証を行う画面に戻ります。	_

<mark>0</mark> ①ユーザー

ユーザー情報の確認・登録・削除をすることができます。(ユーザーの最大登録数:1000人)

■新規ユーザー登録方法

ユーザー一覧画面右上の「+」ボタンを押し、メニュー内の①~⑥の項目を設定後に画面右上の「√」ボタンを押すと登録することができます。

■ユーザー情報編集方法

ユーザーー覧画面から情報を編集したいユーザーを選択します。ユーザー情報編集画面で編集したい項目を編集後、画面左上の「<」ボタンを押すと編集が完了します。

■画面イメージ



■設定項目一覧

メニュー	説明
①名前	ユーザー名の変更ができます
②顔画像	認証用の顔画像の撮影・登録ができます
③パスワード	パスワード認証用のパスワード設定ができます ※認証方法にパスワードを使用する場合は、パスワードを設定の上、用途に合わせて認証モードを 「シングル(パスワード)」または「ダブル」に変更してください。
④認証モード	 下記3つのモードから1つを選択できます ・シングル(顔) ・ 顔認証によるシングル認証 ・シングル(パスワード):パスワード認証によるシングル認証 ・ダブル : 顔認証およびパスワード認証によるダブル認証
⑤ユーザータイプ	下記の2つから選択できます ・管理者ユーザー:管理者認証が可能でメニュー画面に入ることができます ・一般ユーザー :管理者認証ができずメニュー画面へ入ることができません
6ID	ユーザーごとの識別番号を設定できます
⑦ユーザー削除	登録済みのユーザー情報を削除できます
⑧決定	ユーザー情報を確定し、追加登録を行うことができます
⑨戻る	ユーザー情報編集画面で押すと情報の編集が完了します 新規ユーザー登録画面で押すとユーザーが追加されません。登録を完了させるためには 「⑧決定」を押してください



②顔認証

	、ベリの記向たオスマレギズキナオ
認証証題なりとも「リナイ」	アトルリュータすることかできます。

■画面イメージ

■設定項目一覧

く 顔認証		
 ライブセキュリティレベル 	通常	>
2 顔認証距離	自動	>
3 顔認証間隔		>
④ 顔 1:N セキュリティレベル	90	>
 ⑤ 顔 1:1 セキュリティレベル 	90	>
※上記で記載の設定た 出荷時の設定です。	jï	

メニュー	説明
①ライブセキュリティレベル	顔認証のセキュリティレベルを「通常」、「高」、「最高」 の3段階で設定することができます。
②顔認証距離	顔認証を行う距離を「0.5m」、「1m」、「1.5m」、 「2m」、「自動」5段階で設定することができます。 ※「自動」は2m以上の距離で認証可能な設定ですが、 使用環境により認証できる距離は異なる可能性 があります。
③顔認証間隔	顔認証成功後、次の顔認証を行うまでに時間を1~ 10秒で設定することができます。
④顔1:Nセキュリティレベル	1:N認証(端末内に持つ多数のデータとの比較する 認証)のセキュリティレベルを0~100の間で設定 することができます。数値が高いほどセキュリティ レベルは高くなります。
⑤顔1:1セキュリティレベル	1:1認証(登録済みの本人のデータとどれだけ一致 しているかを比較する認証)のセキュリティレベル を0~100の間で設定することができます。数値 が高いほどセキュリティレベルは高くなります。

■お知らせ

 ・各セキュリティレベル設定は、高い設定値にするほどセキュリティ性が上がりますが、上げていくと登録時データとの 比較が厳しくなり、登録者本人でも認証しない場合があります。特に事情がない場合は、出荷時の設定値を推奨してお ります。



認証間隔

連続で行う際の顔認証・パスワード認証の認証間隔を設定することができます。

■画面イメージ

同一人物の認証間隔

■設定項目一覧

- ב=×	説明
①同一人物の認証間隔	同一人物に対して全ての認証方法における認証間隔を 0~60秒で設定することができます。 ※下記設定値を10秒にした際の例 ①Aの人の顔認証~Aの人の顔認証開始:10秒待つ ②Aの人の顔認証~Bの人の顔認証開始:待ち時間なし

※上記で記載の設定が 出荷時の設定です。

■認証間隔に関する注意事項

- ●メニュー内に本ページ上部に記載の「②顔認証一③顔認証間隔」と下部に記載の「③認証間隔一①同一人物の認証間隔」 と2つの認証間隔の設定がありますが、下記の注意事項があります。
- · 顔認証の認証間隔は設定値の大きい方が優先されます。

5 >

・両設定とも画面上では0秒から設定が可能ですが、施解錠操作は認証後、3秒間は実施できません。

音声設定や時刻、管理者パスワードに関する設定をすることができます。

■画面イメージ



■設定項目一覧

メニュー	説明
①音声設定	顔認証ユニットの音声(認証結果を伝えたり、ディ スプレイのタッチ音)の有り無し、有の場合は音量 を0~10の間で設定することができます。出荷時 は音声無しの設定になっています。 ※P.19に記載の制御ユニットのブザー音とは異な ります。
②日付時刻	日時情報の設定ができます。
③休止時間(秒)	待機画面からディスプレイがOFFになるまでの時 間が0~60秒の間で設定することができます。
④管理者パスワード	管理者パスワードの再設定を行うことができます。

※上記で記載の設定が 出荷時の設定です。



⑤メンテナンス

システム情報の確認や登録情報・各種設定の初期化をすることができます。

■画面イメージ



■設定項目一覧

- ב=X	説明
①システム情報	端末情報の確認ができます。
 容量 	登録されているユーザー数、顔画像数と認証実施回 数などを含むイベント数の確認ができます。
③デバイスアップグレード	顔認証ユニットに内蔵されるソフトウェアの更新 ができます。 ※日常操作では使用せず、保守・メンテナンス時に 使用します。
④工場出荷時設定	登録ユーザー情報や設定情報を全てリセットし、顔 認証ユニットを工場出荷時の状態にすることがで きます。
⑤再起動	顔認証ユニットを再起動することができます。

■工場出荷時設定操作を行う際の注意事項

- ・顔認証ユニット内の全ての情報を初期化するため、登録したユーザー情報も削除されます。削除後に再起動を自動的 に行い、P.10に記載の管理者パスワード設定画面から再設定が必要になるため、実施する際は上記をご認識のうえ で実施願います。
- ・設定が初期化されるのは顔認証ユニット内で設定している情報のみです。制御ユニットにて設定を行う施解錠関連の 設定は初期化されません。



ユーザーデータを削除することができます。

■画面イメージ



■設定項目一覧				
-r=×	説明			
①データを削除	登録しているユーザーデータをすべて削除します。 ※ユーザーを個別に削除したい場合は、P.15を 参照してください。			



⑦画面表示

認証時の画面表示方法を設定することができます。

■画面イメージ



■設定項目一覧

ー ニーメ	説明			
①テーマ	 認証時の画面を下記の2種から選択することができます。 ・デフォルトモード: カメラで撮影している映像をディスプレイに表示する。 ・プライバシーモード: カメラで撮影している映像をディスプレイに表示しない。 			

※上記で記載の設定が 出荷時の設定です。

■認証画面表示の違い



【プライバシーモード】







■デジタル表示と設定ボタンの操作方法

デジタル表示の点灯と上下ボタンの関係は下記を参照してください。

	上デジタル表示	名称	機能
		上デジタル表示(設定項目表示)	上下のデジタル表示を合わせた際に十の位の数値を示す
		下デジタル表示(設定値表示)	上下のデジタル表示を合わせた際に一の位の数値を示す
c•-	II 上設定ボタン	上設定ボタン(設定項目ボタン)	押した際にデジタル表示(上)の数字が進みます
	4	下設定ボタン(設定値ボタン)	押した際にデジタル表示(下)の数字が進みます

上設定ボタンを押すと上デジタル表示の数字が、0 → 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → E → 1 → · · · 下設定ボタンを押すと下デジタル表示の数字が、0 → 1 → 2 → 0 と繰り上がります。

■設定内容

тар	L	ব			
坝日		0(出荷時設定)	1	2	
状態表示	0	設定変更モード開始	_	—	
自動施錠	1	OFF	ON1 (手動時OFF)	ON2(常時ON)	
連動施錠	2	OFF	ON	—	
自動開閉	3	ON1(電動解錠時有効)	ON2(顔・パスワード認証のみON)	OFF	
ブザー設定	4	ON	OFF	—	
非接触屋内ボタン	5	ON	OFF	—	
動作確認モード	6	保守・メンテナンス時に使用のモード			
施工確認モード	7		組立時に使用のモード		
設定終了	E	n		_	

※設定変更モードに入る前に上デジタル表示が「E」を表示している場合、機器がエラー状態となっています。 P.24 に記載のエラー表示をご確認ください。

※「自動開閉」、「非接触屋内ボタン」の設定は購入時にオプションでそれぞれ「自動開閉仕様」、「非接触屋内ボタン」 を選択した場合のみ設定できます。

※上記のブザー設定で OFF/ON できるのは施解錠時に鳴動する制御ユニット内のブザーです。



非接触屋内ボタンに関する設定方法

✓ 非接触屋内ボタンは反応距離や LED 点灯輝度、点灯パターンを変更することができます。

■非接触屋内ボタンカバーの取外し方

非接触屋内ボタンカバー下部に空いている穴に、マイナスドライバーを差し込んでカバーを外します。



■検出範囲設定ボリューム

検出範囲を 10 ~ 50cm の間で調整することができます。(初期値:10cm)

■明るさ設定ボリューム

待機時・検出時の動作表示灯の明るさを調整することができます。(初期値:中央値)

■モード設定スイッチ

スイッチ 1~3の組合せにより、待機時と検出時の動作表示等の色を設定できます。 スイッチ 4 は動作と関係がないため設定を変更しないでください。(初期値:スイッチ 1~4 すべて OFF)

設定スイ	ッチ	ON 1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3	ON 1 2 3	1 2 3		1 2 3
動作	待機時	緑色	赤色	青色	緑色	赤色	青色	消灯	消灯
表示灯	検出時	赤色	緑色	緑色	緑色	赤色	青色	緑色	青色

転居・退去時に行うこと

住宅の転居・退去時には、下記2点の初期化対応を必ず行ってください。※初期化対応を行わないと顔画像情報がユニット内に残ってしまうため必ず実施してください。

■顔認証ユニットの初期化

P.17の⑤メンテナンス内の④工場出荷時設定を実行してください。実施後に顔認証ユニットが再起動され、P.10 に記載のパスワード設定画面が表示されることを確認します。

■制御ユニットの初期化

P.19 を参照し設定変更モードへ入ってから以下の操作を行います。 ③まで行い、顔認証ユニットの電源が OFF になれば初期化完了です。

①上設定ボタンを繰り返し押し
 デジタル表示を「60」にします。

5 **ポチッ** 2



②下設定ボタンを5秒以上長押しすると

デジタル表示が「90」になります。

③下設定ボタンを繰り返し押し デジタル表示を「93」にしてから 上設定ボタンを押すと初期化されます。



こまったときには

故障かな?と思ったら

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、お客様相談センターにご連絡ください。



電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm

状態	考えられる原因	処置	参照 ページ
施役/紹党ができた	ドアが完全に閉まり切っていない。	ドアを閉めてください。	_
加延/ 屛延がてさる	室内換気を行っているため、室内外の圧力差 によって鎌がストライクに強当たりしている。	換気扇を切る、または換気口を開けてくだ さい。	_
連動施錠されない。	停電または下側のロックを手動施錠した。	停電時以外は電動での施錠、もしくは上側の ロックを手動施錠してください。(停電時は連 動施錠されません)	8
AC アダプターをコン セントに差しているの に顔認証ユニットの電 源が ON にならない。	初回起動時の各ユニットの電源を ON にする 操作を行っていない。	制御ユニットのカバーを外し、設定スイッチの操作で各ユニットの電源を ON にしてください。	9
錠(デッドボルト)が出 たままになる。	施錠動作中にドアを開けた。	ドアを開けるとサムターンが停止し、錠(デッ ドボルト)が出たまま止まることがあります。 サムターン作動中は、サムターンに触れたり ドアを開けたりしないでください。	_
認証させていないのに 勝手に施解錠される。	非接触屋内ボタンの反応範囲内に物体が入 り込み、施解錠操作が行われた。	非接触屋内ボタンの反応範囲内に、物体が 入り込まないようにしてください。	12

全体

顏認証

状態	考えられる原因	処置	参照 ページ
顔認証ユニットに近づ	顔認証ユニットの「顔認証距離」の設定を短 い距離に設定している可能性があります。	顔認証ユニットの「顔認証距離」の設定をご 確認頂き、認証させたい距離の設定にしてく ださい。	16
点灯しない。	太陽光や過度な照明の影響で顔を認識でき ていない可能性があります。	顔認証ユニットのカメラ部、または認証さ れる人に光が当たり過ぎないように手など で光をさえぎってください。	_
	顔認証ユニットと登録したい顔が遠く離れて いる。	顔認証ユニットに近づき、登録用の丸い枠の 中に顔が入るようにして登録をしてください。	10
商の啓得, 羽虹ができ	マスクやサングラスなど顔を覆い隠すものを 装着している。	マスクやサングラスなど、顔を覆い隠すもの は外して登録をしてください。	6
はい。 ない。	カメラのレンズに水滴やホコリ、汚れなどが 付着している。	カメラ部についている水滴やホコリ、汚れを 落としてから登録・認証をしてください。	_
	カメラに複数人映り込んでいる。	登録・認証は一人ずつ行ってください。カメ ラに複数人が映り込んでいると顔が認識しに くくなる可能性があります。	_
顔が認識されない。 (顔を追従する枠が表 示されない)	顔認証ユニット内に搭載している OS の動作 がフリーズしている場合があります。	画面上部を長押しして管理者ユーザーによる 認証画面、または画面下部を押してパスワー ド認証の画面へ移行後に認証画面に戻ってく ださい。	11,13
設定している認証距離 で認証がされない	太陽光や過度な照明などの環境影響で顔を 認識しずらくなっている可能性があります。	設定距離よりも近づいて認証を行う、または 顔認証ユニットのカメラ部、または認証され る人に光が当たり過ぎないように手などで光 をさえぎってください。	_
ディスプレイがちらつく、 表示が一瞬消える	強い電気的なストレス(静電気など)が加わり、ディスプレイ表示が瞬断された可能性があります。	強い電気的なストレスが加わると瞬間的にディ スプレイの映像が消える可能性がありますが、 故障ではありません。表示が元の通りに表示 されていればそのままお使いください。	_

パスワード認証

状態	考えられる原因	処置	参照 ページ
クッチの反応が悪い	手袋をしている。	手袋を付けた状態ではタッチパネル部は反応いる。しないため、手袋を取外して操作をしてください。	_
	タッチパネル部が濡れている。	タッチパネル部が濡れていると反応しにく かったり、誤動作に繋がりますので、水分を ふき取ったうえでご使用願います。	_

2

顔認証ユニットのエラー表示

エラー画面	原因	対処方法
認証できませんでした 認証できませんでした	未登録ユーザーである。	ユーザー登録をする。
	パスワードを間違えている。	正しいパスワードを入力する。
	登録ユーザーだが帽子などで顔の一部が 隠れている。	装着物を外し、カメラに顔全体が映るよ うにする。
顔の向きを変えてください		
顔の向きを変えてください でででで、「つい」では、 ののでで のので のの	顔の向きがカメラに対してまっすぐ向いて いない。	顔の向きをカメラに対してまっすぐにして 認証させる。

3

制御ユニットデジタル表示部のエラー表示

対象	デジタル表示	エラー内容	対処方法
顔認証ユニット	E 7 7	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
電気箱錠(上)	Ę	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
	5	上の錠(デッドボルト)がストライクに 接触しています。	ドアが確実に閉まっていることを確認し再度電気 錠操作で動かしてください。それでも同様のエ ラー表示が出る場合は、建付け調整を行ってく ださい。 → (お施主さま用保存版取扱い説明書)
電気箱錠(上下)	E	ドアが開いた状態で施解錠操作が行われました。	ドアを閉めてください。
電気箱錠(下)	Ę	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
	£ 8	下の錠(デッドボルト)がストライクに 接触しています。	ドアが確実に閉まっていることを確認し再度電気 錠操作で動かしてください。それでも同様のエ ラー表示が出る場合は、建付け調整を行ってく ださい。 → (お施主さま用保存版取扱い説明書)
電動ドアクローザー	E P	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
制御ユニット	<u>そ</u> 月 点灯なし	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にデジタル表示の点灯内容を伝えご相談ください。

お手入れ方法

■電装機器のお手入れ方法

①表面についた砂やホコリをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。

- ②水で濡らし、固く絞った柔らかい布で全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液を布に付 け汚れを落とし、そのあと水拭きします。
- ※上記の場合で落ちない汚れは、布にエタノールを含ませて拭いてください。その際、エタノールが商品に付いた状態で放置 せずに拭き取ってください。放置すると、シミや変色の原因になります。



■ACアダプターのお手入れ方法

AC アダプターは電源プラグにホコリが溜まりますと、トラッキング火災の原因になるおそれがありますので定期的なお手入れをお願いします。

※ AC アダプターの設置場所がご不明の場合は、商品をお求めの施工店、工務店へお問い合わせください。

1. AC アダプターをコンセントから抜きます。

- 2. 乾拭きや掃除機を用いて電源プラグのホコリを取除きます。
- 3. AC アダプターをコンセントに奥まで差込みます。



■お願い

- ・濡れた手での作業は行わないでください。もし、コンセント等が濡れてしまった場合は、ブレーカーを落とし、完全に 乾くまでブレーカーを入れないでください。
- ・コンセントから抜くときは、配線を持たず本体をしっかり握って抜いてください。

商品仕様

■ 顔認証ユニット

登録ユーザー数	最大1000人
同時認証人数	1人

■ 非接触屋内ボタン

検出方式	マイクロウェーブ方式
出力周波数	24.125GHz
検出範囲	0.1~0.5m

■ ACアダプター

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	60W
出力電圧	24V

■ 使用環境

使用温度範囲	-10°C~50°C
使用湿度範囲	30~90% RH (結露/氷結なきこと)

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。 保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■商品保証について」**の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

①ご住所・お名前・電話番号
②商品名・品番
③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅(建売)、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
④故障又は異常の内容
⑤訪問ご希望日
⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保 証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱 いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

・お求めの取扱い店

・製品に表示している連絡先

·LIXIL修理受付センター 🚾 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。 技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。 部品代は、修理に使用した部品代です。 出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社に て引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品(商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含みます。)の最低保有期 間は、製造打切り後10年です。電装系部品については製造打切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材について は、製造打切り後2年としております。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL 公式通販サイトよりご注文いただけます。 ●リクシルストア https://store.lixil.co.jp/

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 🚾 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷 などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センター にご相談ください。

■ 対象商品 サッシ・ドア商品

■保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間) 注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。 注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

> ※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める 「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

- ■保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。 なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。 不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。
- **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合 (例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や 腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
 - ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
 - (例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、 かびなどその他類似の不具合
 - ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
 - (例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起 きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
 - (例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
 - ⑧天災その他の不可抗力
 - (例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超え る事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合 ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

- 10引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- (例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが 原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合 ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで 受付時間/月~金 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. 00 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は 旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで 受付時間/月~金 9:00~18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. 000 0120-413-433 FAX. 000 0120-413-436

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に 従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

רואור

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから ご確認ください。

取説番号 MAP-992A 事業所コード AZT6 2025.3.21発行

